

# I. 学科別履修指針

## 人間社会学科の履修指針

人間社会学科では必修科目を1年前期に集中させ、その後徐々に選択科目の割合を増やしています。これは人間社会学科の教育課程を進めていく上で最低限身につけて欲しい基礎的な能力やスキルを早いうちに習得してもらうためです。2年次以降はその能力やスキルを基盤としてそれぞれの得意分野や関心のある分野を自らの目標に向かって自発的・自律的に学習を進めます。

人間社会学科の科目は、大きく「修学基礎教育科目」「外国語教育科目」「工学基礎科目」「専門教育科目」の4つに分類されます。以下のそれぞれの科目の目的や位置づけを理解したうえで、計画的に履修していきましょう。

### ■ 修学基礎教育科目

この科目には大学で学ぶ上で必要とされる基礎的な学力や、将来、社会人として身につけておくべき教養を学ぶための科目などが配されています。一見、自分の目指す将来像とは全く関係がないように見える科目もあるかもしれませんが、しかし、これら科目は、専門的知識や技術を身近な問題と関連づけ活用しうるための基礎となるものであり広範な知識、広い視野、国際感覚、思考の柔軟性、豊かな人間性、高い倫理観などからなる創造力の源泉となるものです。専門に関する学習と並行しながら、積極的に履修しましょう。

### ■ 外国語教育科目

文字通り外国語を学ぶ科目です。グローバル化の進む現代社会においては、英語の知識をぜひ身につけておきたいところです。

### ■ 工学基礎科目

この科目には主にコンピュータに関わる知識やスキルを身につけるための科目が含まれます。大学においても社会においてもコンピュータを扱う一定の知識やスキルは必須であり、それらを身につけることによって学習や仕事の幅も広がります。

### ■ 専門教育科目

専門教育科目は企業社会領域科目、地域社会領域科目、人間形成領域科目の三つの領域科目と実践科目・卒業研究に細分されます。三つの領域科目は、一つの領域に集中して履修するのもよいですし、複数の領域をバランスよく履修するのもかまいません。いずれにしても、自分の目指す将来像に向かって計画的に履修することが大切です。

実践科目には主に基礎ゼミやプロジェクトゼミといった少人数ゼミが含まれます。1年から3年まではこれらのゼミを必修科目としてすべて履修しなければなりません。実践科目は人間社会学科が目標とする“人間力”を実際の行動によって身につけるための科目です。専門教育科目の三領域科目や修学基礎教育科目などで培った知識や教養をゼミ科目で実践し、またゼミ科目で実践した経験を専門教育科目などでの学習へとフィードバックして、知識の習得と実践による体得とを繰り返しながらより高い“人間力”を身につけていきましょう。

## 資 格

### (1) 在学中から受験できる関係資格

#### I. コンピュータ・IT関連

##### ① ITパスポート試験

ITパスポート試験の資格は、情報処理技術者資格の一つであり、職業人誰もが共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を測る試験で、経済産業大臣認定の国家資格の一つです。

(独) 情報処理推進機構情報処理技術者試験センター 北海道支部  
電話 011-231-5753

#### II. 経営・ビジネス関連

##### ② 簿記検定(日商)〔日本商工会議所〕

簿記の知識は、経理事務や財務会計部門に限らず、現在や将来の利益を計る財務諸表や企業会計の法規を理解し、経営管理・経営分析を行うための基礎技能です。この技能の修得により、事業収支の分析や企画書の作成などさまざまなビジネスシーンで活用できます。多くの企業が採用や人事異動の判断に活用したり、自己啓発として取得を奨励したりしています。

札幌商工会議所 サービスセンター 電話 011-231-1122  
(内線 241)

##### ③ 経営学検定〔経営能力開発センター〕

経営学検定試験は経営に関する基礎的・専門的知識やその応用能力としての経営管理能力、問題解決能力が一定水準に達していることを全国レベルで資格認定する検定試験です。この試験は経営学に関する基礎的知識が一定水準に達していることを全国レベルで資格認定されるという意味で就職活動に際して強力なアピールの材料になります。

NPO 法人経営能力開発センター 経営学検定試験協議会 電話 03-5919-3087

#### III. 語学関連

##### ④ 実用英語技能検定(英検)〔日本英語検定協会〕

いわゆる「英検」です。国内最大級の英語検定試験で、すでに受験経験のある人も多いでしょう。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を、筆記・リスニング・スピーキングのテストで測定し合否を判定します。英語科目や海外研修などの学習成果をいかし、より上級を目指しましょう。

英検サービスセンター(個人受付) 電話 03-3266-8311

##### ⑤ TOEIC テスト〔国際ビジネスコミュニケーション協会〕

TOEIC(トイーック)とは Test of English for International Communication の略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。また TOEIC テストは合否ではなく 10 点から 990 点までのスコアで評価されるところに特徴があります。世界約 60 カ国年間 450 万人が受験しており、TOEIC テストのスコアは世界中で活用することができます。

(財) 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会 東京業務センター  
電話 03-5521-6033

##### ⑥ 日本語検定(語検)〔日本語検定委員会〕

日本人の国語力の低下が懸念されており、それにともない国語関連の資格試験が注目されてきて

います。日本語検定（略称：語検）は、敬語、文法、表記、漢字、言葉の意味、語彙の6つの観点から日本語の総合力を判定する検定試験です。国語力、日本語による表現力はなかなか個人では自分の能力をはかりにくいものです。資格取得は客観的に自らの日本語表現力を確認することができるため、その後の学習の指針にもなりますし、また就職の際の有利な材料として活用することもできます。入学当初は3級以上、卒業までには2級以上を目指したいところです。その他、国語系の資格試験として日本漢字能力検定試験（略称：漢検）や、日本語文章能力検定試験（文検）などもあります。

（問い合わせ先）特定非営利活動法人 日本語検定委員会 電話 0120-552-858